



知床科学委員会

しんぶん

エゾシカ・陸上生態系

ワーキンググループ NO. 11



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループって?

知床半島で、エゾシカや陸上生態系の管理をどのように進めるのか議論するための会議です。

この会議での意見をもとに、さまざまな事業が進められています。

今回の会議

平成 28 年 6 月 28 日 (火) 釧路地方合同庁舎にて、今年度第 1 回目の会議がありました。

必見!
TOPIC

5 年ぶり 3 度目の 広域ヘリコプター調査を実施しました

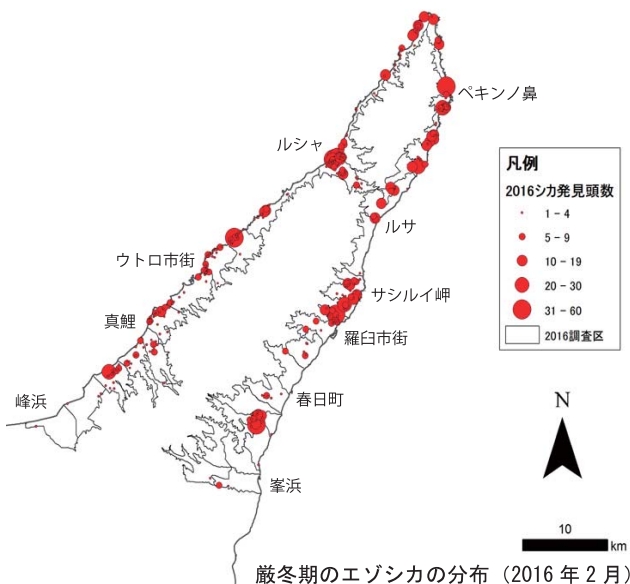
2016 (平成 28) 年 2 月 16 ~ 25 日、ヘリコプターを使って上空からエゾシカを数える調査を、知床半島のほぼ全域で実施しました。半島全体の航空調査は、2003 年 3 月、2011 年 2 月にひきつづき、5 年ぶり 3 度目です。半島全体で 319 群れ、1,725 頭のシカを直接目視で発見しました。

今回 (2016 年 2 月) の結果を 5 年前と比較すると、半島西側 (斜里町側) で全体的に減少傾向、半島東側 (羅臼町側) では一部

をのぞいてほぼ横ばいとの結果でした。

一部地区では 2012 年春の大雪による自然死亡も多少は影響しているようですが、基本的にシカの捕獲事業を重点的に実施している地区においては、シカを減らすことができているか、少なくとも増加を食い止めることはできているようです。

* 羅臼町の春苑古丹川の北側では減少傾向、同共栄町・海岸町地区では若干増加傾向との結果でした。



調査中にヘリコプターから撮影したエゾシカの群れ